

市政を問う 平成19年第4回定例会 一般質問質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項および答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

食育、歴史遺産の保全 歩道の安全策について

市民サイド 森 喜行

○食育について。十月開始の中学校給食、それまでのあっせん弁当とどう違うのか、弁当併用外注方式という保護者に見えにくいやり方の中で食材の安全性をどう確保するのか等質問。望ましいカルシウム摂取のため低温殺菌牛乳への転換を求めました。併せて弁当文化の効用をあげ、少数派となった弁当持参者への配慮を求めました。社会的に子どもをとりまく食環境の劣悪さを指摘し、市が学校と家庭の間に入って、食育に対する啓はつ等を進め、市民的に食の環境を改善してゆく必要性も併せて訴えました。

○歴史遺産の保全について。都道328号線の用地にかかる日吉町の農家敷地にある安政年間(江戸後期)に築造された土蔵、都と連携して移築等の保全策を講じるべきだと訴えました。また、昔の道「赤道」や水路跡「青道」について、等価交換により道路等に組み込む前に歴史的価値をよく吟味し、極力、保全や記録などに心がけるよう求めました。併せて防空壕など近代の遺物についても保全を訴えました。

○歩道の安全策について。西国分寺駅南の歩道の石だたみが経年劣化で滑りやすくなっている。旧4小跡も高齢者施設になることだし、地域の高齢化にあわせ、特に雨天時の安全策として素材の変更等の安全策を講じるよう求めました。

景気の動向と財政及び さまざまな施策

無会派(新和会) 伊藤 太郎

問) 11月に公表された月例経済報告では、サブプライムローンの影響についての指摘がされています。これに伴い、円高の進行や株価の低下等デフレ要素が高いことが問題です。また違う観点では、石油がバレルあたり\$100に達する勢いで、かつ大豆・小麦・トウモロコシ等の穀物がバイオエタノール作成のため値上げが著しく、中国特需が原材料の値上げの要因になっています。これらがインフレ要素になり、食品を含む生活関連物資の値上げが相次ぎ、所得の低い方々や障害をお持ちの方々と福祉施設の運営経費等、生活や活動を圧迫しています。このようにデフレとインフレが同時平行的に進む状態をスタグフレーションといいます。経済環境は極めて不安な状態です。このような環境で来年度の予算編成のなかにおいて、ご配慮して頂けますか。

市長) 伊藤議員の経済分析は、相変わらず聞きごたえあると伺っておりました。

問) 調達に関する基本指針について、公正かつ地域振興を踏まえた入札方法とは?

市民生活部長) 今回の指針で、議員御指摘のように市の経済活性化を図ると明記されています。今後市内事業者の要望を検討する必要有り。

その他) 中学校給食の衛生管理等伺いました。

妊婦無料健診5回に拡大実現!

公明党 さの久美子

1. 妊婦無料健診拡大について
6月議会で提案した後、8月に奈良県で起こった妊婦たらいまわし事件が発端となり、妊婦健診は大きな社会問題に。経済的負担が大きいため、受診しない妊婦が増大。母子共に健康な出産を望むことから拡大化を要望し続けた結果、平成20年4月より妊婦無料健診を5回に拡大する!とのうれしい回答を得ました。

2. 学校図書館の充実について
子どもたちの身近な読書環境である学校図書館への司書配置とクーラーの設置を要望。来年度、モデル校に週5日司書を配置すること、クーラー未設置校は早期に対応したいとの回答でした。

3. シニア世代の施策充実について
仙台市の先進的な取り組みを紹介し、地域受け入れ体制強化と更なる情報発信を求めました。

4. 耐震改修促進計画について
震災時、耐震改修をした家は強いという事例から耐震改修の補助制度の早期実現と市民の負担軽減を強く要望。来年早い時期に実施との回答。

5. 出産育児一時金受領委任払い制度について
平成20年4月から実施可能との回答。国民健康保険加入の方は4月からご利用できます。都市計画道路国3・2・8号線と西国分寺駅北口駐輪場の進捗状況についても質問しました。

いじめの問題への対応や 地域福祉推進について

公明党 木島 たかし

1. いじめ問題について 問) いまだに大きな社会問題。今も苦しんでいる子どもがいる。どのような取り組みがなされているのか。
教育長) 一つ一つを解決するため、あらゆる方面で全力をあげてきた。今後も継続していく。

問) いじめに起因することの多い不登校が、市の小学校では増加している。早期発見のために小学校へのスクールカウンセラーの配置を。
市長) 早期に実現出来るよう、検討していく。

2. 孤立死の問題について 問) 一人暮らしの高齢者の増加に伴い対策が望まれる。新宿区では75歳以上の方に福祉の情報紙を訪問した上で手渡しをしている。その中での対話を通じて孤立感の解消に努めている。参考にするべきでは。
福祉保健部長) 地域福祉を推進しネットワークを築いていく上で大変参考になる。検討したい。

3. ぶんバスについて 問) 史跡周辺地域は道路事情の問題もあるが不便地域解消のために、「通せる所まででも」という考えも必要では。
都市建設部長) 今後、協議していきたい。

4. 図書館について 問) ①朝も含め開放時間の検討②西国分寺駅周辺にブックポスト設置を。
教育部長) サービス拡大の視点で考えたい。

5. 放課後子どもプランについて 学童保育所との連携など今後の課題について質問しました。

災害時支援ボランティアの マニュアル作成を

民主市民クラブ 興津 秀憲

興津) 万が一の災害時に、支援ボランティアとの協働推進とその方法を準備し又地域民間企業との災害時協力・協定を進めておくべき。

市長) 社会福祉協議会とボランティア活動への協力体制を築き、日ごろの体制としている。又JAとも協定を進めているが、他の市内業者とも災害時協定を結んで行きたい。

部長) 災害時の詳細の活動を社協さんとも協力して活動のマニュアルを作成していく。

興津) 耐震促進計画をすすめ、まず木造耐震診断、耐震改修を進めていくべきである。

部長) 現在アンケート調査を進めている。本年に改修計画・パブリックコメントをとり、新年度に助成事業も含めて早い時期から開始したい。マンションにも順じ実施に向けて準備したい。

その他) 自治会でなかなか準備できない地域へ防犯灯設置を市が行えないか。と質疑し、現地をみて個々に対応すると答弁を得た。

次年度予算編成方針について。スクラップ&ビルドについて。経常収支比率の考え方について。市民提案型協働事業について。等、行財政について質疑した。最後に国分寺市芸術文化振興推進の次年度への取り組みを質問した。大変多くの取り組みが行われているので、継続的・積極的に文化振興に取り組みたいと答弁を得た。

交通安全の充実と地域力の向上へ

民主市民クラブ 三葛 敦志

Q. サービスコーナー・自動交付機の利便性
→市役所でしかできない手続がある。

Q. 「マニフェスト感覚」のため選挙公報の事後チェックが重要。資料としてHP掲載を。
→現行公選法上、選挙期間以外は掲載難しい。可能性を研究する。

Q. 駅発車ベル：信時潔作曲の歌の起用
→市民が自発的に動き進んでいる。

Q. みふじ幼稚園北東交差点は、特に自転車交通が危ない。小さな事故も頻発している。
→カーブミラーや看板等、安全対策考える。

Q. 朝夕、駅への人の流れと逆行する国分寺高校生の自転車マナーについて。
→問題意識は持ち、頻繁に申し入れている。

Q. 国分寺駅自由通路に自転車止める人いる。
→把握している。JRとも協議したい。

Q. 西国分寺駅南側の狭い路上で、マンション敷地のはじっこに駐輪する人がいる。
→土地の所有者通じて指導したい。

Q. 横浜中央図書館の展示見た。本への書き込み、盗難や雑誌の切り取り等ひどい状況。
→市内図書館でも少なからずある。公共の財産と認識している。検討したい。

Q. コミュニティスクールの検討状況は?
→大切なのは地域力。地域と連携図りたい。